

# 山口新聞

平成27年4月17日(金)

NO.150



## 地域を愛する心を共有

流には1918年に築造さ

れた大井川第二水力発電所  
がある。

人口減少に伴う危機感から積極的な地域の保全対策  
が必要と、2007年に当会を発足。以降、農地、水路、農道の保全を第一に、生態系の保全と環境美化を推進し、子や孫がいつまでも住みたいと思ふ環境づく

当地域は県北東部の低い山に囲まれた南向きの谷あいに位置し、約30haの田んぼ、寺、西側は真名井神社、下

飯谷保全会（阿武町）

## 守ろう 地域の手で

農地・水・環境

150

りを目指している。

春はメダカ、ドジョウの放流、夏は婦人会を中心とした花壇の管理、秋はセイタカアワダチ草の除草などをを行い、かつての自然が戻ってくるなど活動の成果が出てきている。

集落の憩いの場である飯谷構造改善センター前の農地を利用した花壇は、県教育長賞を受賞し、一段と活動の励みになっている。

今後も地域を愛す心を共有し、美しい環境を維持するため夢を持って環境整備に力を入れていきたい。

（代表、大田誠）  
〔金曜日掲載〕

【メモ】代表＝大田誠

△会員＝10人、農家（7  
戸）、飯谷婦人会、町消  
防団、飯谷集落▽設立＝  
2007年8月28日▽連  
絡先＝阿武町宇生賀32  
24、大田誠さん△08  
388・855・0603

上 会員の皆さん  
下 県教育長賞を受賞した農  
地利用の花壇